



「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 Vol.5 令和4年2月10日

11月16日(火)、2年生の医療専攻生が「オータムセミナー2021 in KOIDE」(於 魚沼市立小出病院)に参加させていただきました。これは医療人をを目指す学生向けに実施されているもので、小出高生の参加は4年目になります。今年は「ライフを支える仕事人」をテーマに、現場で活躍する医療人に説明をいただきながら働く現場を見せていただきました。コロナ禍で実施が危ぶまれる中、非常に貴重な機会をいただきました。「白衣を着るのが楽しみ!」という生徒も、初めは緊張しながら臨みました。体験内容や生徒の感想などを紹介します。

[オータムセミナー2021 in KOIDE 11月16日(火)当日のスケジュール]

時間	実習内容
13:00~13:40	開講式(院長挨拶、職員紹介)
13:40~14:00	日程説明、院内ビデオ紹介
14:00~15:20	なりきり実習
15:20~15:30	休憩
15:30~16:20	なりきり講義(20分の講義を一人2つ選択)
16:20~16:30	休憩
16:30~16:50	院長講話、閉講式、記念写真撮影

1 「なりきり実習」

憧れの白衣を身にまとい、看護師(病棟)、看護師(外来)、検査科、地域連携科、放射線科、リハビリ科など希望職種の現場で実習をさせていただきました。



体験内容

- ・聴診器で心臓、肺、腹の音を聞きました。自分の指に針を刺して出てきた血を使って、血糖値を測りました。
- ・専門の方しか操作することのできない機械を操作させていただきました。また、レントゲンを撮るための機械の位置を合わせることをしました。

生徒の感想

- ・大切だと思ったことは、患者さんとのコミュニケーションの仕方です。看護師の方は、患者さん1人1人に合った声量で、視線を合わせてお話していました。忙しい時も笑顔で患者さんとコミュニケーションを取っていた看護師の方々はとても素敵でした。
- ・患者さんに負担がかからないように、スピーディかつ正確な検査を心掛けていることが分かりました。
- ・情報の伝え方をとっても大切にされていて、1つのミスが大きな事故につながる現場であることを、より感じさせられました。
- ・医療従事者の人と話していると安心すると感じました。普段から患者さんに親身になって接しているからこそだと思います。
- ・看護師さんだけでなく、他の職種の方と連携しながらやっていて、チーム医療を実際に感じる事ができました。

2 「なりきり講義」

看護師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、リハビリ(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)の中から、2つの講義(各20分)を選んで受講しました。「プロフェッショナル 仕事の流儀」と題した講義で、全ての職種で患者さんを第一に考えて行動していることを学びました。



3 「院長講話」

「医療でその人を助けられなくても、手をにぎって温もりを与え、ひとりぼっちではないということを伝えることが大切」という話を聴いて感動しました。



◎オータムセミナー振り返り



11月30日（火）、オータムセミナーで体験したことについての質問を学校でまとめ、小出病院で質問させていただきました。お忙しい中、たくさんの病院関係者にご出席いただき、丁寧に答えていただきました。

生徒の感想

- ・より一層医療に対する理解が深まりました。患者さんと関わる際は、色々意識しなければならないことがあり、そのおかげで病院に行った際に安心できるのだと思いました。
- ・なかなか体験することや見ることができないものを見せて頂いて、当たり前のことだけどドラマの中の世界とは全然違い、とてもリアルなものでした。そこで働く看護師さんは、患者さんのことを第一に考えて1人1人に寄り添っていて、想像以上に大変な仕事だと思いました。そして、頑張っている看護師さんはとてもステキだと思いました。
- ・今回の医療専攻は、今までで一番良い時間を過ごさせていただきました。地域連携科という所に見学に行かせてもらい、普段聞くことのないお話を沢山聞かせていただきました。はっきりと自分の夢と照らし合わせることができました。
- ・私たちが今からやっておけることは、コミュニケーション能力をつけることや、周りを見て行動することだと思いました。
- ・これから勉強をがんばって、絶対に夢を叶えたいです。

生徒はオータムセミナーを楽しみにしていました。予想以上の体験で、表情には充実感があふれ、今後の学校生活の充実と進路に対する決意を強くしたものと感じています。

布施院長先生始め小出病院関係者の皆様、大変貴重な機会をありがとうございました。